

大学番号 108

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

東洋大学 社会学部 第1部 国際社会学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東洋大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

教務部社会学部教務課

職名・氏名

カチヨウホ、サ、ウエマツタカユキ
課長補佐・植松孝行

電話番号

03-3945-7248

（夜間）

03-3945-7248

e-mail

m1shakai@toyo.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

社会学部 第1部

＜国際社会学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	61
7. その他全般的事項	62

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人東洋大学

(2) 大 学 名

東洋大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒112-8606

東京都文京区白山5丁目28番地20号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(アンザイ タカシ) 安 齋 隆 (平成30年12月)		
学 長	(ヤグチ エツコ) 矢 口 悦子 (令和2年4月)		
学 部 長	(オオシマ タカシ) 大 島 尚 (平成31年4月)	(キリュウ マサユキ) 桐 生 正 幸 (令和3年4月)	任期満了のため 令和3年4月1日変更 (3)
学 科 長 等	(ナガツ カズフミ) 長 津 一 史 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
社会学部 第1部 国際社会学科 学士(社会学)	社会学・社会福祉学関係	4年	150人	年次人	600人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員									150人 (0) [15]		0.98倍	-	
志願者数									2305 (0) (-) [91] [-]				
受験者数									2249 (0) (-) [83] [-]				
合格者数									776 (0) (-) [30] [-]				
B 入学者数									147 (0) (-) [26] [-]				
入学定員超過率 B/A									0.98				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次									147 [26]	- [-]	
2 年次											
3 年次											
4 年次											
計									147 [26] (-)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度			平成29年度			
平成30年度			平成29年度			
			平成30年度			
令和元年度			平成29年度			
			平成30年度			
			令和元年度			
令和2年度			平成29年度			
			平成30年度			
			令和元年度			
			令和2年度			
令和3年度	147 人	0 人	平成29年度			
			平成30年度			
			令和元年度			
			令和2年度			
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{\#REF!}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\#REF!}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\#REF!}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\#REF!}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{147} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(1) 一① 授業科目表

【令和3年度】

5

2 授業科目の概要

<社会学部 国際社会学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数	専任教員等の配置					備 考
				必 修	選 修	教 養	専 攻	助 手	
国際 人 の 形 成 (語 学)	カレント・イングリッシュⅠA	1前	1						第5
	カレント・イングリッシュⅠB	1後	1						第5
	カレント・イングリッシュⅡA	2前	1						第5
	カレント・イングリッシュⅡB	2後	1						第5
	英語ⅠA	1前	1	1					第5
	英語ⅠB	1後	1	1					第5
	英語ⅡA	1前	1						第6
	英語ⅡB	1後	1						第6
	英語ⅢA	2前	1	1					第6
	英語ⅢB	2後	1	1					第6
	ドイツ語ⅠA	1前	1		1				第3
	ドイツ語ⅠB	1後	1		1				第3
	ドイツ語ⅡA	1前	1						第3
	ドイツ語ⅡB	1後	1						第3
	ドイツ語ⅢA	2前	1		1				第3
	ドイツ語ⅢB	2後	1		1				第3
	フランス語ⅠA	1前	1		1				第2
	フランス語ⅠB	1後	1		1				第2
	フランス語ⅡA	1前	1						第3
	フランス語ⅡB	1後	1						第3
	フランス語ⅢA	2前	1		1				第2
	フランス語ⅢB	2後	1		1				第2
	中国語ⅠA	1前	1						第4
	中国語ⅠB	1後	1						第4
	中国語ⅡA	1前	1						第4
	中国語ⅡB	1後	1						第4
	中国語ⅢA	2前	1						第6
	中国語ⅢB	2後	1						第6
	ハンガールⅠA	1前	1						第3
	ハンガールⅠB	1後	1						第3
	ハンガールⅡA	1前	1		1				第1
	ハンガールⅡB	1後	1		1				第1
	ハンガールⅢA	2前	1						第3
	ハンガールⅢB	2後	1						第3
	日本語ⅠAA	1前	1						第4
	日本語ⅠAB	1後	1						第4
	日本語ⅠBA	1前	1						第5
	日本語ⅠBB	1後	1						第5
	日本語ⅡA	2前	1						第7
	日本語ⅡB	2後	1						第8
	カレント・イングリッシュⅢA	3・4前	1	1					
	カレント・イングリッシュⅢB	3・4後	1	1					
	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情A	3・4前	2		1				
	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情B	3・4後	2		1				
	フランス語およびフランス語圏社会事情A	3・4前	2		1				
	フランス語およびフランス語圏社会事情B	3・4後	2		1				
	中国語および中国語圏社会事情A	3・4前	2						第1
	中国語および中国語圏社会事情B	3・4後	2						第1
	ハンガールおよびハンガール圏社会事情A	3・4前	2		1				
	ハンガールおよびハンガール圏社会事情B	3・4後	2		1				
	ビジネス日本語Ⅰ	1前	1						第1
	ビジネス日本語Ⅱ	1後	1						第1
	日本語と日本文化A	2前	2						第1
	日本語と日本文化B	2後	2						第1
	日本語と日本社会A	2前	2						第1
	日本語と日本社会B	2後	2						第1
	English for Academic PurposesⅠA Listening/Speaking	1・2・3・4前・後	2						第1
	English for Academic PurposesⅠB Reading/Writing	1・2・3・4前・後	2						第1
	English for Academic PurposesⅡA Listening/Speaking	1・2・3・4前・後	2						第1
	English for Academic PurposesⅡB Reading/Writing	1・2・3・4前・後	2						第1
	Pre-Study Abroad College Study Skills	1・2・3・4前・後	1						第1
	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1・2・3・4前・後	1						第1
	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1・2・3・4前・後	1						第1
	Business English Communication	1・2・3・4前・後	2						第1
	日本事情ⅠA	1・2・3・4前	2						第1
	日本事情ⅠB	1・2・3・4後	2						第1
	日本事情ⅡA	1・2・3・4前	2						第1
	日本事情ⅡB	1・2・3・4後	2						第1
	日本事情ⅢA	1・2・3・4前	2						第1
	日本事情ⅢB	1・2・3・4後	2						第1
	日本の文化と社会	1・2・3・4前	2						第1
基 礎 教 育 科 目	小計(71科目)	-	4	91	1	3	1		第83
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2						第2
	ベシック・マーケティング	1・2・3・4前	2						第1
	流通入門	1・2・3・4前	2						第1
	基礎会計学	1・2・3・4前	2						第1
	企業会計	1・2・3・4後	2						第1
	情報化社会と人間	1・2・3・4前・後	2						第1
	情報倫理	1・2・3・4前・後	2						第1
	コンピュータ・リテラシ	1・2・3・4後	2						第1
	インターンシップ入門	1・2・3・4後	2						第1
	ボランティア活動入門	1・2・3・4前	2						第1
	企業のしくみ	1・2・3・4前・後	2						第3
	企業家論	1・2・3・4後	2						第1
	公務員論	1・2・3・4前・後	2						第1
	テクニカルライティング	1・2・3・4前	2						第1
	アカデミックライティング	1・2・3・4後	2						第1
	地球環境論	1・2・3・4後	2						第1
	ロジカルシンキング入門	1・2・3・4前	2						第3
	クリティカルシンキング入門	1・2・3・4後	2						第3
	キャリアマネジメント入門	1・2・3・4前	2						第1
	キャリアデザイン	1・2・3・4後	2						第1
	キャリアデベロップメント	1・2・3・4後	2						第1
	コミュニケーション&マナーⅠ	1・2・3・4前	2						第1
	コミュニケーション&マナーⅡ	1・2・3・4後	2						第1
	フシリテーション概論	1・2・3・4前	2						第1
キ ャ リ ア ・ 市 民 形 成	小計(24科目)	-		48					第20
	スポーツ健康科学実技ⅠA	1・2・3・4前	1						第13
	スポーツ健康科学実技ⅠB	1・2・3・4後	1						第13
	スポーツ健康科学実技ⅡA	1・2・3・4前	1						第13
	スポーツ健康科学実技ⅡB	1・2・3・4後	1						第13
	スポーツ健康科学実技ⅢA	1・2・3・4前	1						第13
	スポーツ健康科学実技ⅢB	1・2・3・4後	1						第13
	スポーツ健康科学実技ⅣA	1・2・3・4前	1						第13
	スポーツ健康科学実技ⅣB	1・2・3・4後	1						第13
	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1・2・3・4前・後	2						第2
	スポーツ健康科学講義ⅡA	1・2・3・4前	2						第3
	スポーツ健康科学講義ⅡB	1・2・3・4後	2						第3
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学	小計(12科目)	-		18					第13

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数	専任教員等の配置					備 考
				必 修	選 修	教 養	専 攻	助 手	
国際 人 の 形 成 (語 学)	カレント・イングリッシュⅠA	1前	1						第5
	カレント・イングリッシュⅠB	1後	1						第5
	カレント・イングリッシュⅡA	2前	1						第5
	カレント・イングリッシュⅡB	2後	1						第5
	英語ⅠA	1前	1	1					第5
	英語ⅠB	1後	1	1					第5
	英語ⅡA	1前	1						第6
	英語ⅡB	1後	1						第6
	英語ⅢA	2前	1		0				第6
	英語ⅢB	2後	1		0				第6
	ドイツ語ⅠA	1前	1				1		第3
	ドイツ語ⅠB	1後	1				1		第3
	ドイツ語ⅡA	1前	1						第2
	ドイツ語ⅡB	1後	1						第2
	ドイツ語ⅢA	2前	1				1		第3
	ドイツ語ⅢB	2後	1				1		第3
	フランス語ⅠA	1前	1				1		第2
	フランス語ⅠB	1後	1				1		第2
	フランス語ⅡA	1前	1						第2
	フランス語ⅡB	1後	1						第2
	フランス語ⅢA	2前	1			1			第2
	フランス語ⅢB	2後	1			1			第2
	中国語ⅠA	1前	1						第3
	中国語ⅠB	1後	1						第3
	中国語ⅡA	1前	1						第4
	中国語ⅡB	1後	1						第4
	中国語ⅢA	2前	1						第5
	中国語ⅢB	2後	1						第5
	ハンガールⅠA	1前	1						第3
	ハンガールⅠB	1後	1						第3
	ハンガールⅡA	1前	1				1		第2
	ハンガールⅡB	1後	1				1		第2
	ハンガールⅢA	2前	1						第3
	ハンガールⅢB	2後	1						第3
	日本語ⅠA(留学生用)	1前	1						第6
	日本語ⅠB(留学生用)	1後	1						第6
	日本語ⅡA(留学生用)	1前	1						第4
	日本語ⅡB(留学生用)	1後	1						第4
	日本語ⅢA(留学生用)	2前	1						第5
	日本語ⅢB(留学生用)	2後	1						第5
	カレント・イングリッシュⅢA	3・4前	2		1				
	カレント・イングリッシュⅢB	3・4後	2		1				
	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情A	3・4前	2				1		
	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情B	3・4後	2				1		
	フランス語およびフランス語圏社会事情A	3・4前	2				1		
	フランス語およびフランス語圏社会事情B	3・4後	2				1		
	中国語および中国語圏社会事情A	3・4前	2						第1
	中国語および中国語圏社会事情B	3・4後	2						第1
	ハンガールおよびハンガール圏社会事情A	3・4前	2				1		
	ハンガールおよびハンガール圏社会事情B	3・4後	2				1		
	ビジネス日本語と日本文化Ⅰ	1・2・3・4前・後	2						第2
	ビジネス日本語と日本文化Ⅱ	1・2・3・4後	2						第2
	ビジネス日本語と日本文化Ⅲ	1・2・3・4前	2						第1
	日本語と日本社会A	2・3・4前	2						第1
	日本語と日本社会B	2・3・4後	2						第1
	IELTS for Study AbroadⅠ Listening/Speaking	1・2・3・4前・後	2						第4
	IELTS for Study AbroadⅠ Reading/Writing	1・2・3・4前・後	2						第4
	IELTS for Study AbroadⅡ Listening/Speaking	1・2・3・4前・後	2						第3
	IELTS for Study AbroadⅡ Reading/Writing	1・2・3・4前・後	2						第3
	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking	1・2・3・4前	2						第2
Pre-Study Abroad: Writing	1・2・3・4後	1						第1	
Business English Communication	1・2・3・4前・後	2							
テクニカルライティング	1・2・3・4前・後	2						第2	
アカデミックライティング	1・2・3・4後	2						第2	
日本語事情ⅠA	1・2・3・4前	2						第1	
日本語事情ⅠB	1・2・3・4後	2						第1	
日本語事情ⅡA(英語圏)	1・2・3・4前	2						第1	
日本語事情ⅡB(英語圏)	1・2・3・4後	2						第1	
日本語事情ⅢA	1・2・3・4前	2						第1	
日本語事情ⅢB	1・2・3・4後	2						第1	
日本の文化と社会	1・2・3・4後	2						第1	
日本語アカデミックライティングⅠ	1・2・3・4前	1						第1	
日本語アカデミックライティングⅡ	1・2・3・4後	1						第1	
日本語アカデミックライティングⅢ	1・2・3・4前	1						第1	
日本語アカデミックライティングⅣ	1・2・3・4後	1						第1	
応用日本語	2・3・4前・後	1						第1	
小計(70科目)	-	4	102	4	0	6		第04	
キャリア・市民 形成	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2					第3	
	ベーシック・マーケティング	1・2・3・4前	2					第1	
	流通入門	1・2・3・4前	2					第1	
	基礎会計学	1・2・3・4前	2					第1	
	企業経営	1・2・3・4後	2					第1	
	情報化社会と人間	1・2・3・4前・後	2					第1	
	情報倫理	1・2・3・4前・後	2					第1	
	コンピュータ・リテラシー	1・2・3・4後	2					第1	
	インターシップ入門	1・2・3・4後	2					第1	
	社会実習活動入門	1・2・3・4前・後	2					第2	
	公務員論	1・2・3・4前・後	2					第1	
	地球環境論	1・2・3・4後	2					第1	
	ロジカルシンキング入門	1・2・3・4前	2					第3	
	クリティカルシンキング入門	1・2・3・4後	2					第3	
	キャリアデザイン入門	1前	2					第3	
	キャリアデザイン・実践	2後	2					第3	
	キャリアデベロップメント	3後	2					第1	
	コミュニケーション&マナー入門	1前	2					第1	
	コミュニケーション&マナー・実践	2前・後	2					第1	
	ファシリテーション概論	2・3・4前	2					第1	
小計(20科目)	-	40					第19		
健康・スポ ーツ 科 学	スポーツ健康科学実技ⅠA	1・2・3・4前	1					第14	
	スポーツ健康科学実技ⅠB	1・2・3・4後	1					第14	
	スポーツ健康科学実技ⅡA	1・2・3・4前	1					第14	
	スポーツ健康科学実技ⅡB	1・2・3・4後	1					第15	
	スポーツ健康科学実技ⅢA	1・2・3・4前	1					第14	
	スポーツ健康科学実技ⅢB	1・2・3・4後	1					第15	
	スポーツ健康科学実技ⅣA	1・2・3・4前	1					第14	
	スポーツ健康科学実技ⅣB	1・2・3・4後	1					第16	
	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1・2・3・4前・後	2					第2	
	スポーツ健康科学講義Ⅱ	1・2・3・4後	2					第3	
	スポーツ健康科学実習Ⅰ	1・2・3・4前	2					第2	
	スポーツ健康科学実習Ⅱ	1・2・3・4後	2					第3	
小計(12科目)	-	16					第1		

2 授業科目の概要

＜社会学部 国際社会学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備考
			必修	選択	選択	選択	選択	専任	非常勤	助	助	主	
基盤教育科目	総合ⅠA	1-2-3-4前	2					兼1					総合・学際
	総合ⅠB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅡA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅡB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅢA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅢB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅣA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅣB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅤA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅤB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅥA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅥB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅦA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅦB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅧA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅧB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅨA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅨB	1-2-3-4後	2					兼1					
	総合ⅩA	1-2-3-4前	2					兼1					
	総合ⅩB	1-2-3-4後	2					兼1					
	全学総合ⅠA	1-2-3-4前	2					兼1					
	全学総合ⅠB	1-2-3-4後	2					兼1					
	全学総合ⅡA	1-2-3-4前	2					兼1					
	全学総合ⅡB	1-2-3-4後	2					兼1					
	全学総合ⅢA	1-2-3-4前	2					兼1					
	全学総合ⅢB	1-2-3-4後	2					兼1					
	小計(26科目)	—	52					兼14					
必修科目	国際社会概論	1前	2					1					必修科目
	ダイバーシティ概論	1後	2			1							
	国際社会体験演習	1後	2			1	1						
	国際社会論基礎演習A	1前	2			3	3						
	国際社会論基礎演習B	1後	2			3	3	1					
	社会調査入門A	1前	2			1							
	社会調査入門B	1後	2			1							
	文化人類学	1前	2			1							
	現代人類学	1後	2			1							
	グローバル化の社会学	1前	2			1							
	共生社会学	1後	2			1							
	国際社会論演習ⅡA	3前	2			8	6	1					
	国際社会論演習ⅡB	3後	2			8	6	1					
	国際社会論演習ⅢA	4前	2			8	6	1					
	国際社会論演習ⅢB	4後	2			8	6	1					
	小計(15科目)	—	30			8	7	1					
	国際社会調査実習A	2前	2			1							
	国際社会調査実習B	2後	2			1							
	国際社会論演習ⅠA	2前	2			1	2						
	国際社会論演習ⅠB	2後	2			1	2						
	国際社会プロジェクト演習ⅠA	2前	2			1	1						
	国際社会プロジェクト演習ⅠB	2後	2			1	1						
	小計(6科目)	—	12			3	2						
	日本社会文化論A	1-2-3-4前	2										
	日本社会文化論B	1-2-3-4後	2										
	アジア社会文化論A	1-2-3-4前	2			1							
	アジア社会文化論B	1-2-3-4後	2			1							
	アフリカ社会文化論A	1-2-3-4前	2										
	アフリカ社会文化論B	1-2-3-4後	2										
	南北アメリカ社会文化論A	1-2-3-4前	2			1							
	南北アメリカ社会文化論B	1-2-3-4後	2			1							
	中東社会文化論A	1-2-3-4前	2			1							
	中東社会文化論B	1-2-3-4後	2			1							
	ヨーロッパ社会文化論A	1-2-3-4前	2			1							
	ヨーロッパ社会文化論B	1-2-3-4後	2			1							
	小計(12科目)	—	24			3	2						
	イスラーム世界論	2-3-4後	2			1							選択必修C
	移民論A	2-3-4前	2			1							
	移民論B	2-3-4後	2			1							
	内なる国際化	2-3-4前	2			1							
	環境と開発A	2-3-4前	2			1							
	環境と開発B	2-3-4後	2			1							
	生産と人間社会A	2-3-4前	2			1							
	生産と人間社会B	2-3-4後	2			1							
	難民論	2-3-4前	2										
	マイノリティの人類学	2-3-4後	2			1							
	言語と文化	2-3-4前	2			1							
	いのちの社会学	2-3-4後	2			1							
	現代紛争論	2-3-4前	2										
	ジェンダー文化論A	2-3-4後	2										
	ジェンダー文化論B	2-3-4前	2			1							
	民族とナショナリズム	2-3-4後	2			1							
	ジェンダーと不平等	2-3-4前	2										
	教育と社会的排除	2-3-4後	2										
	小計(18科目)	—	36			4	3						
	外国史A	1-2-3-4前	2			1							選択必修D
	外国史B	1-2-3-4後	2			1							
	ライフストーリー論	2-3-4前	2										
	多文化共生論	2-3-4後	2			1							
	Multiculturalism in a Globalising World	2-3-4前	2			1							
	グローバル化と現代社会	2-3-4後	2			1							
	市民社会論	2-3-4前	2										
	文化社会学A	2-3-4後	2			1							
	文化社会学B	2-3-4前	2			1							
	宗教社会学A	2-3-4後	2			1							
	宗教社会学B	2-3-4前	2			1							
	人文地理学A	2-3-4後	2			1							
	人文地理学B	2-3-4前	2			1							
	文化人類学の最前線	2-3-4後	2										
	社会運動の社会学	2-3-4前	2			1							
	アジア言語文化論A	2-3-4後	2										
	アジア言語文化論B	2-3-4前	2										
	歴史社会学	2-3-4後	2										
	Global Sociology	2-3-4前	2										
	小計(19科目)	—	38			5	2						
	ボランティアとインターンシップ	2-3-4前・後	2										選択科目
	国際社会プロジェクト演習ⅡA	3-4前	2			1	1						
	国際社会プロジェクト演習ⅡB	3-4後	2			1	1						
	卒業論文	4後	8			1							
	自然地理学A	1-2-3-4前	2										
	自然地理学B	1-2-3-4後	2										
	地誌学A	1-2-3-4前	2			1							
	地誌学B	1-2-3-4後	2			1							
	政治学原論A	1-2-3-4前	2										
	政治学原論B	1-2-3-4後	2										
	小計(10科目)	—	26			2	1						
	社会学概論A	1前	2										社会学部所属科目
	社会学概論B	1後	2										
	小計(2科目)	—	4										
	統計情報処理および実習Ⅰ	1前	2										
	ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ	1前	2										
	小計(2科目)	—	4										
	社会学概論A	1前	2										
	社会学概論B	1後	2										
	小計(2科目)	—	4										
	統計情報処理および実習Ⅰ	1前	2										
	ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ	1前	2										
	小計(2科目)	—	4										
	社会学概論A	1前	2										
	社会学概論B	1後	2										
	小計(2科目)	—	4										
	統計情報処理および実習Ⅰ	1前	2										
	ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ	1前	2										
	小計(2科目)	—	4										

【令和3年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任教員数		
				必修	選択	選択	専任	非常勤	助	助	主			
基礎教育科目	総合・学際	総合E	1-2-3-4後	2									兼1	
		総合K	1-2-3-4前	2									兼1	
		総合L	1-2-3-4後	2									兼1	
		社会学総合I	1-2-3-4後	2									兼1	
		社会学総合J	1-2-3-4後	2										
		社会学総合K	1-2-3-4後	2									兼1	
		総合D	1-2-3-4後	2									兼1	
		総合C(未開講)	1-2-3-4後	2									兼1	
		総合G	1-2-3-4前	2									兼1	
		総合H	1-2-3-4後	2									兼1	
		総合M	1-2-3-4後	2									兼1	
		総合F(未開講)	1-2-3-4前	2									兼1	
		総合A	1-2-3-4前	2									兼1	
		総合H	1-2-3-4後	2									兼1	
		総合J	1-2-3-4後	2									兼2	
		総合J	1-2-3-4後	2									兼2	
		社会学総合A	1-2-3-4前	2									兼2	
		社会学総合B	1-2-3-4後	2									兼1	
		社会学総合F	1-2-3-4前	2									兼2	
		社会学総合G	1-2-3-4後	2									兼2	
		社会学総合H	1-2-3-4後	2									兼1	
		社会学総合C(未開講)	1-2-3-4前	2									兼1	
		社会学総合L	1-2-3-4後	2									兼2	
		社会学総合M	1-2-3-4後	2									兼1	
		社会学総合D	1-2-3-4前	2									兼1	
		社会学総合E	1-2-3-4後	2									兼1	
				小計(26科目)	-	2	52							兼18
必修科目	必修科目	国際社会概論	1前	2			1	0			0			
		ダイバーシティ概論	1後	2			1	0						
		国際社会体験演習	1後	2				1	0					
		国際社会論基礎演習A	1前	2			4	3	1		0			
		国際社会論基礎演習B	1後	2			4	3	1		0			
		社会調査入門A	1前	2										
		社会調査入門B	1後	2										
		文化人類学	1前	2			1	0						
		現代人類学	1後	2			1	0						
		グローバル化の社会学	1前	2										
		共生社会学	1後	2										
		国際社会論演習ⅡA	3前	2			8	6	1					
		国際社会論演習ⅡB	3後	2			8	6	1					
		国際社会論演習ⅢA	4前	2			8	6	1					
		国際社会論演習ⅢB	4後	2			8	6	1					
				小計(15科目)	-	30		8	5	1	0			
		選択必修A	選択必修A	国際社会調査実習A	2前	2		1						兼1
				国際社会調査実習B	2後	2		1						
				国際社会論演習ⅠA	2前	2			1					兼2
				国際社会論演習ⅠB	2後	2			1					兼2
				国際社会プロジェクト演習ⅠA	2前	2			1					兼1
				国際社会プロジェクト演習ⅠB	2後	2			1					兼1
				小計(6科目)	-	12	3	1					兼3	
		選択必修B	選択必修B	日本社会文化論A	1-2-3-4前	2								兼1
				日本社会文化論B	1-2-3-4後	2								兼1
				アジア社会文化論A	1-2-3-4前	2		1						
				アジア社会文化論B	1-2-3-4後	2		1						
アフリカ社会文化論A	1-2-3-4前			2								兼1		
アフリカ社会文化論B	1-2-3-4後			2								兼1		
南北アメリカ社会文化論A	1-2-3-4前			2		1								
南北アメリカ社会文化論B	1-2-3-4後			2		1								
中東社会文化論A	1-2-3-4前			2		1								
中東社会文化論B	1-2-3-4後			2		1								
ヨーロッパ社会文化論A	1-2-3-4前	2			1									
ヨーロッパ社会文化論B	1-2-3-4後	2			1									
		小計(12科目)	-	24	3	1					兼2			
選択必修C	選択必修C	イスラーム世界論	2-3-4後	2		1								
		移民論A	2-3-4前	2			1							
		移民論B	2-3-4後	2			1							
		内なる国際化	2-3-4前	2		1								
		環境と開発A	2-3-4前	2		1								
		環境と開発B	2-3-4後	2		1								
		生態と人間社会A	2-3-4前	2		1								
		生態と人間社会B	2-3-4後	2		1								
		難民論	2-3-4前	2									兼1	
		マイノリティの人類学	2-3-4後	2			1							
		言語と文化	2-3-4前	2			1							
		いのちの社会学	2-3-4後	2		1								
		現代紛争論	2-3-4前	2									兼1	
		ジェンダー文化論A	2-3-4後	2									兼1	
		ジェンダー文化論B	2-3-4前	2			1							
		民族とナショナリズム	2-3-4前	2		1								
ジェンダーと不平等	2-3-4後	2		1							兼0			
教育と社会的排除	2-3-4後	2		1							兼3			
		小計(18科目)	-	36	3	4								
選択必修D	選択必修D	グローバル・ヒストリーA	1-2-3-4前	2		1								
		グローバル・ヒストリーB	1-2-3-4後	2		1								
		ライフ・ヒストリー論	2-3-4前	2									兼1	
		多文化共生論	2-3-4前	2		1								
		Multiculturalism in a Globalising World	2-3-4後	2			1							
		グローバル化と現代社会	2-3-4前	2			1							
		市民社会学	2-3-4後	2									兼1	
		文化社会学A	2-3-4前	2										
		文化社会学B	2-3-4後	2										
		宗教社会学A	2-3-4前	2										
		宗教社会学B	2-3-4後	2										
		人文地理学A	2-3-4前	2			1							
		人文地理学B	2-3-4後	2			1							
		文化人類学の最前線	2-3-4前	2									兼1	
		社会運動の社会学	2-3-4後	2			1							
		アジア言語文化論A	2-3-4前	2							0		兼1	
アジア言語文化論B	2-3-4後	2									兼1			
政治と社会	2-3-4前	2									兼1			
Global Sociology	2-3-4後	2												
		小計(19科目)	-	38	4	2	0		0			兼5		
選択科目	選択科目	ボランティア&インターンシップ	2-3-4前・後	2						0		兼1		
		国際社会プロジェクト演習ⅡA	3-4前	2		1	0					兼1		
		国際社会プロジェクト演習ⅡB	3-4後	2		1	0					兼1		
		卒業論文	4後	8										
		小計(4科目)	-	14	1	0		0			兼2			
社会学科共通科目	科目必修	社会学概論A	1前	2								兼1		
		社会学概論B	1後	2								兼1		
		小計(2科目)		-	4									
		統計情報処理および実習Ⅰ	1前・後	4		2							兼0	
科目選択必修	科目選択必修	統計情報処理およびプログラミングⅠ	1前・後	4		2						兼0		
		統計情報処理およびプログラミングⅡ	1前・後	4		2						兼0		
		小計(2科目)		-	4		2					兼2		

(1) - ① 授業科目表

【令和3年度】

[illegible]

【令和3年度】

- 教育上の効果を高めるため「哲学A」の兼任・兼担教員を「4」から「8」に変更。
教育上の効果を高めるため「哲学B」の兼任・兼担教員を「4」から「8」に変更。
教育上の効果を高めるため「哲学科A」の兼任・兼担教員を「2」から「3」に変更。
教育上の効果を高めるため「哲学科B」の兼任・兼担教員を「2」から「3」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「歴史の諸問題Ⅰ」の開講時期を「1-2-3-4前」から「1-2-3-4前・後」に変更。教育上の効果を高めるため兼任・兼担教員を「6」から「10」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「歴史の諸問題Ⅱ」の開講時期を「1-2-3-4前」から「1-2-3-4前・後」に変更。教育上の効果を高めるため兼任・兼担教員を「6」から「10」に変更。
教育内容の実効のため「歴史学A」の科目を追加。開講時期を「1-2-3-4前」。単位数を「2」、兼任・兼担教員を「1」と設定。
教育内容の実効のため「歴史学B」の科目を追加。開講時期を「1-2-3-4前」。単位数を「2」、兼任・兼担教員を「1」と設定。
授業運営上の都合により「法学A」の兼任・兼担教員を「6」から「5」に変更。
教育上の効果を高めるため「政治学A」の兼任・兼担教員を「2」から「3」に変更。
教育上の効果を高めるため「政治学B」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地理学A」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地理学B」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「心理学A」の兼任・兼担教員を「2」から「7」に変更。
教育上の効果を高めるため「心理学B」の兼任・兼担教員を「4」から「7」に変更。
教育上の効果を高めるため「地球の科学A」の兼任・兼担教員を「5」から「12」に変更。
教育上の効果を高めるため「地球の科学B」の兼任・兼担教員を「3」から「4」に変更。
授業運営上の都合により「生物学A」の兼任・兼担教員を「3」から「2」に変更。
兼任・兼担教員を「3」から「5」に変更。
教育上の効果を高めるため「地域文化研究ⅠA」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地域文化研究ⅠB」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地産(日本)A」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地産(日本)B」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地産(東洋)A」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地産(東洋)B」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地産(西洋)A」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「地産(西洋)B」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「国際関係入門」の開講時期を「1-2-3-4前」から「1-2-3-4後」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「日本語ⅠA(留学生用)」の開講時期を「1-2-3-4前」に変更。授業運営上の都合により兼任・兼担教員を「2」から「1」に変更。
「国際社会と組織」を「異文化理解講座」に名称変更。教育上の効果を高めるため兼任・兼担教員を「2」から「3」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「留学のすすめ」の開講時期を「1-2-3-4前」から「1-2-3-4前・後」に変更。
教育上の効果を高めるため「英語海外交流Ⅰ」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「英語海外交流Ⅱ」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
授業運営上の都合により「英語ⅢA」の専任教員の配置を「教授」から「教授」に変更。兼任・兼担教員を「5」から「6」に変更。
授業運営上の都合により「英語ⅢB」の専任教員の配置を「教授」から「教授」に変更。兼任・兼担教員を「5」から「6」に変更。
授業運営上の都合により「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼担教員を「3」から「2」に変更。
授業運営上の都合により「フランス語Ⅰ」の兼任・兼担教員を「3」から「2」に変更。
授業運営上の都合により「フランス語Ⅱ」の兼任・兼担教員を「3」から「2」に変更。
授業運営上の都合により「中国ⅠA」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
授業運営上の都合により「中国ⅠB」の兼任・兼担教員を「4」から「3」に変更。
授業運営上の都合により「中国ⅡA」の兼任・兼担教員を「6」から「5」に変更。
授業運営上の都合により「中国ⅡB」の兼任・兼担教員を「6」から「5」に変更。
教育上の効果を高めるため「ハンガリーA」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
教育上の効果を高めるため「ハンガリーB」の兼任・兼担教員を「1」から「2」に変更。
「日本語ⅠA」から「日本語ⅠB(留学生用)」に名称変更。教育上の効果を高めるため兼任・兼担教員を「4」から「6」に変更。
「日本語ⅠBA」から「日本語ⅠB(留学生用)」に名称変更。
「日本語ⅠBB」から「日本語ⅠB(留学生用)」に名称変更。
「日本語ⅡA」から「日本語ⅡB(留学生用)」に名称変更。授業運営上の都合により兼任・兼担教員を「4」から「5」に変更。
「日本語ⅡB」から「日本語ⅡB(留学生用)」に名称変更。
「日本語ⅢA」から「日本語ⅢB(留学生用)」に名称変更。授業運営上の都合により兼任・兼担教員を「8」から「5」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「ビジネス日本語Ⅰ」を「ビジネス日本語Ⅰ」「日本語と日本文化」「日本語と日本文化II」を「ビジネス日本語と日本文化I」「ビジネス日本語と日本文化II」に変更。
開講時期を「前」「1後」「2後」から「1-2-3-4前・後」「1-2-3-4後」に変更。兼任・兼担教員を「兼1」「兼1」「兼1」「兼1」から「兼2」「兼2」「兼2」「兼2」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「日本語と日本社会A」の開講時期を「2前」から「2-3-4前」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「日本語と日本社会B」の開講時期を「2後」から「2-3-4後」に変更。
「English for Academic Purposes I Listening/Speaking」から「ELTS for Study Abroad I Listening/Speaking」に名称変更。
教育上の効果を高めるため兼任・兼担教員を「1」から「4」に変更。
「English for Academic Purposes 1B Reading/Writing」から「ELTS for Study Abroad I Reading/Writing」に名称変更。
教育上の効果を高めるため兼任・兼担教員を「1」から「4」に変更。
「English for Academic Purposes II Listening/Speaking」から「ELTS for Study Abroad II Listening/Speaking」に名称変更。
教育上の効果を高めるため兼任・兼担教員を「1」から「3」に変更。
「English for Academic Purposes 1B Reading/Writing」から「ELTS for Study Abroad II Reading/Writing」に名称変更。
教育上の効果を高めるため兼任・兼担教員を「1」から「3」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「Pre-Study Abroad College Study Skills」「Pre-Study Abroad Basic Academic Writing」「Pre-Study Abroad Academic Essay Writing」を「Pre-Study Abroad Academic Writing」に名称変更。
「English for Academic Purposes I Listening/Speaking」から「ELTS for Study Abroad I Listening/Speaking」に名称変更。
「English for Academic Purposes II Listening/Speaking」から「ELTS for Study Abroad II Listening/Speaking」に名称変更。
基礎教育科目の「アカデミックライティング」「アカデミックライティング」を「キャリア・市民形成分野」から「国際人の形成(言語)分野」へ変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し、開講時期を「1-2-3-4前」「1-2-3-4中」からそれぞれ「1-2-3-4前・後」に変更。
教育内容を充実するため「日本語カレッジライティングⅠ」の科目を追加。開講時期を「1-2-3-4前」。単位数を「1」、兼任・兼担教員を「1」と設定。
教育内容の実効のため「日本語カレッジライティングⅡ」の科目を追加。開講時期を「1-2-3-4前」。単位数を「1」、兼任・兼担教員を「1」と設定。
教育内容の実効のため「日本語カレッジライティングⅢ」の科目を追加。開講時期を「1-2-3-4前」。単位数を「1」、兼任・兼担教員を「1」と設定。
教育内容の実効のため「日本語カレッジライティングⅣ」の科目を追加。開講時期を「1-2-3-4前」。単位数を「1」、兼任・兼担教員を「1」と設定。
教育内容の実効のため「応用国語A」の科目を追加。開講時期を「2-3-4前・後」。単位数を「1」、兼任・兼担教員を「1」と設定。
「フロンティアデザイン入門」を「キャリアデザイン入門」に名称変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「キャリアデザインⅠ」を「キャリアデザイン実践Ⅰ」に分割し開設。
授業運営上の都合により開講時期を「1-2-3-4後」から「キャリアデザイン入門」を「前」「前」「前」「前」に変更。
「キャリアデザイン入門Ⅰ」は兼任・兼担教員を「3」と設定。「キャリアデザイン入門Ⅱ」は単位数を「2」、兼任・兼担教員を「1」と設定。
履修の利便性と学修効果を考慮し「キャリアデザインⅡ」を開講時期を「1-2-3-4後」から「2-4後」に変更。
「コミュニケーション＆マナーⅠ」から「コミュニケーション＆マナー入門」に名称変更。履修の利便性と学修効果を考慮し開講時期を「1-2-3-4前」から「前」に変更。
履修の利便性と学修効果を考慮し「コミュニケーション＆マナー実践Ⅰ」を開講時期を「1-2-3-4後」から「2-4後」に変更。
教育上の効果を高めるため「スポーツ健康科学実技ⅠA」の兼任・兼担教員を「13」から「14」に変更。
教育上の効果を高めるため「スポーツ健康科学実技ⅠB」の兼任・兼担教員を「13」から「15」に変更。
教育上の効果を高めるため「スポーツ健康科学実技ⅡA」の兼任・兼担教員を「13」から「15」に変更。
教育上の効果を高めるため「スポーツ健康科学実技ⅡB」の兼任・兼担教員を「13」から「15」に変更。
教育上の効果を高めるため「スポーツ健康科学実技ⅢA」の兼任・兼担教員を「13」から「14」に変更。
教育上の効果を高めるため「スポーツ健康科学実技ⅢB」の兼任・兼担教員を「13」から「15」に変更。
教育上の効果を高めるため「スポーツ健康科学実技ⅣA」の兼任・兼担教員を「13」から「15」に変更。
教育上の効果を高めるため「スポーツ健康科学実技ⅣB」の兼任・兼担教員を「13」から「15」に変更。
「総合ⅠA」から「総合ⅠE」に名称変更。
「総合ⅠB」から「総合ⅠE」に名称変更。
「総合ⅠC」から「総合ⅠE」に名称変更。
「総合ⅠD」から「総合ⅠE」に名称変更。
「総合ⅠE」から「総合ⅠJ」に名称変更。
「総合ⅡA」から「総合ⅡG」に名称変更。履修の利便性と学修効果を考慮し開講時期を「1-2-3-4前」から「1-2-3-4後」に変更。
「総合ⅡB」から「総合ⅡJ」に名称変更。
「総合ⅡC」から「総合ⅡK」に名称変更。
「総合ⅡD」から「総合ⅡL」に名称変更。
「総合ⅡE」から「総合ⅡM」に名称変更。
「総合ⅡF」から「総合ⅡN」に名称変更。
「総合ⅡG」から「総合ⅡO」に名称変更。
「総合ⅡH」から「総合ⅡP」に名称変更。
「総合ⅡI」から「総合ⅡQ」に名称変更。
「総合ⅡJ」から「総合ⅡR」に名称変更。
「総合ⅡK」から「総合ⅡS」に名称変更。
「総合ⅡL」から「総合ⅡT」に名称変更。
「総合ⅡM」から「総合ⅡU」に名称変更。
「総合ⅡN」から「総合ⅡV」に名称変更。
「総合ⅡO」から「総合ⅡW」に名称変更。
「総合ⅡP」から「総合ⅡX」に名称変更。
「総合ⅡQ」から「総合ⅡY」に名称変更。
「総合ⅡR」から「総合ⅡZ」に名称変更。
「総合ⅡS」から「総合ⅡAA」に名称変更。
「総合ⅡT」から「総合ⅡAB」に名称変更。
「総合ⅡU」から「総合ⅡAC」に名称変更。
「総合ⅡV」から「総合ⅡAD」に名称変更。
「総合ⅡW」から「総合ⅡAE」に名称変更。
「総合ⅡX」から「総合ⅡAF」に名称変更。
「総合ⅡY」から「総合ⅡAG」に名称変更。
「総合ⅡZ」から「総合ⅡAH」に名称変更。
「総合ⅡAA」から「総合ⅡAI」に名称変更。
「総合ⅡAB」から「総合ⅡAJ」に名称変更。
「総合ⅡAC」から「総合ⅡAK」に名称変更。
「総合ⅡAD」から「総合ⅡAL」に名称変更。
「総合ⅡAE」から「総合ⅡAM」に名称変更。
「総合ⅡAF」から「総合ⅡAN」に名称変更。
「総合ⅡAG」から「総合ⅡAO」に名称変更。
「総合ⅡAH」から「総合ⅡAP」に名称変更。
「総合ⅡAI」から「総合ⅡAQ」に名称変更。
「総合ⅡAJ」から「総合ⅡAR」に名称変更。
「総合ⅡAK」から「総合ⅡAS」に名称変更。
「総合ⅡAL」から「総合ⅡAT」に名称変更。
「総合ⅡAM」から「総合ⅡAU」に名称変更。
「総合ⅡAN」から「総合ⅡAV」に名称変更。
「総合ⅡAO」から「総合ⅡAW」に名称変更。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (平成30年度開設であれば平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	369 科目		390 科目	21 科目 []	377 科目 [8]		398 科目 [8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本事情ⅡA	2	1・2・3・4前	一般	選択	教育効果向上を目的とした他科目の担当追加により、担当予定教員のコマ数調整につき休講。 2022年度開講に向け調整中。
2	日本事情ⅡB	2	1・2・3・4後	一般	選択	教育効果向上を目的とした他科目の担当追加により、担当予定教員のコマ数調整につき休講。 2022年度開講に向け調整中。
3	総合C	2	1・2・3・4後	一般	選択	教育効果向上を目的とした他科目の担当追加により、担当予定教員のコマ数調整につき休講。 2022年度開講に向け調整中。
4	総合F	2	1・2・3・4前	一般	選択	教育効果向上を目的とした他科目の担当追加により、担当予定教員のコマ数調整につき休講。 2022年度開講に向け調整中。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	企業のしくみ	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	全学的なカリキュラム改編に伴い、科目の統廃合により廃止
2	企業家論	2	1・2・3・4後	一般	選択	全学的なカリキュラム改編に伴い、科目の統廃合により廃止
3	キャリアマネジメント入門	2	1・2・3・4前	一般	選択	全学的なカリキュラム改編に伴い、科目の統廃合により廃止
4	総合ⅠA	2	1・2・3・4前	一般	選択	全学的なカリキュラム改編に伴い、科目の統廃合により廃止
5	総合ⅣA	2	1・2・3・4前	一般	選択	全学的なカリキュラム改編に伴い、科目の統廃合により廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員他科目担当によるコマ数調整、新型コロナウイルスの影響等により、一部科目の本年度開講を見送った。また、全学的なカリキュラム改編に伴い、科目の統廃合をおこなったため一部科目を廃止とした。
時間割等には開講科目のみ記載しており、未開講科目については学生へ周知を行っていない。
なお、これらの科目が未開講であっても学生の履修可能科目数や科目区分のバランスは十分に担保されている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{9}{390} = \boxed{2.3} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体
	校 舎 敷 地	336,413.19㎡ 328,547.58㎡	0㎡	0㎡	336,413.19㎡ 328,547.58㎡		借用面積 1,005.61㎡
	運動場用地	189,576.05㎡	0㎡	0㎡	189,576.05㎡		借用期間 2011/4/1～ 2041/3/31
	小 計	525,989.24㎡ 518,123.63㎡	0㎡	0㎡	525,989.24㎡ 518,123.63㎡		面積訂正 (3)
	そ の 他	302,924.81㎡ 309,678.96㎡	0㎡	0㎡	302,924.81㎡ 309,678.96㎡		
	合 計	828,914.05㎡ 827,802.59㎡	0㎡	0㎡	828,914.05㎡ 827,802.59㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体
		216,461.66㎡ 217,681.82㎡ (216,461.66㎡) -(217,681.82㎡)	0㎡	0㎡	216,461.66㎡ 217,681.82㎡ (216,461.66㎡) -(217,681.82㎡)		改修工事等による変更 (3)
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
		349室 332室	142室 154室	368室 399室	39室 35室 (補助職員 12人)	5室 (補助職員 0人)	改修工事等による変更 (3)
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		
		社会学部第1部 国際社会学科			16 室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	社会学部第1部 国際社会学科	1,603,852[345,727] 1,622,284[353,799] (1,577,924[342,395]) (1,581,832[349,515])	16,342 [5,451] 16,875 [5,492] (16,342 [5,451]) -(16,875 [5,492])	23,808 [23,624] 19,599 [19,456] (23,808 [23,624]) -(19,599 [19,456])	14,984 24,079 (14,232) (23,167)	73,128 72,164 (73,128) (72,164)	()
	計	1,603,852[345,727] 1,622,284[353,799] (1,577,924[342,395]) (1,581,832[349,515])	16,342 [5,451] 16,875 [5,492] (16,342 [5,451]) -(16,875 [5,492])	23,808 [23,624] 19,599 [19,456] (23,808 [23,624]) -(19,599 [19,456])	14,984 24,079 (14,232) (23,167)	()	()
(6) 図 書 館		面 積	関 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			面積：改修工事等による変更 (3) 朝霞から赤羽台キャンパスへの移転に伴う閲覧座席数減及び棚板枚数調整による変更等 (3) 大学全体
		14,188.80㎡ 17,498.63㎡	2,524 2,764	1,668,100 2,082,725			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体
		21,077.01㎡ 21,067.33㎡	野 球 場 1 面、サッカー場 2 面			テ ニ ス コ ー ト 13 面 等	改修工事等による変更 (3)
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員 1 人 当 り 研 究 費 等	527千円	527千円	図書購入費	42,515千円	31,163千円 42,538千円	42,584千円
	共 同 研 究 費 等	80,000千円	80,000千円	設備購入費	93,000千円	67,422千円 93,051千円	93,151千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次 1,195千円	第 2 年 次 945千円	第 3 年 次 945千円	第 4 年 次 945千円	第 5 年 次 —	第 6 年 次 —
	学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	東 洋 大 学						学生募集停止学科数	24	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
大学院修士・博士前期課程											
文学研究科											
哲学専攻	2	5	—	10	修士(文学)	1.00	0.40	—	昭和27年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
インド哲学仏教学専攻	2	4	—	8	修士(文学)	0.62	0.50	—	昭和27年度	同上	
日本文学文化専攻	2	10	—	20	修士(文学)	0.80	0.50	—	昭和27年度	同上	
中国哲学専攻	2	4	—	8	修士(文学)	0.62	0.75	—	昭和29年度	同上	
英文学専攻	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	0.00	—	昭和31年度	同上	
史学専攻	2	6	—	12	修士(文学)	0.50	0.50	—	昭和42年度	同上	
教育学専攻	2	20	—	40	修士(教育学)	0.17	0.10	—	平成6年度	同上	
英語コミュニケーション専攻	2	—	—	—	修士(英語コミュニケーション)	—	—	—	平成16年度	同上	平成31年度より学生募集停止
国際文化コミュニケーション専攻	2	10	—	20	修士(国際文化コミュニケーション)	0.45	0.80	—	平成31年度	同上	
社会学研究科											
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会学)	0.95	1.10	—	昭和34年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
社会心理学専攻	2	12	—	24	修士(社会心理学)	0.58	0.41	—	平成16年度	同上	
福祉社会システム専攻	2	—	—	20	修士(社会学)又は修士(社会福祉学)	—	—	—	平成30年度	同上	令和2年度より学生募集停止
法学研究科											
私法学専攻	2	10	—	20	修士(法学)	0.45	0.60	—	昭和39年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
公法学専攻	2	10	—	20	修士(法学)	0.30	0.10	—	昭和51年度	同上	
経営学研究科											
経営学・マーケティング専攻	2	22	—	44	修士(経営学)又は修士(マーケティング)	0.45	0.50	—	平成31年度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
経営学専攻	2	—	—	—	修士(経営学)	—	—	—	昭和47年度	同上	平成31年度より学生募集停止
ビジネス・会計ファイナンス専攻	2	28	—	56	修士(経営学)	1.01	1.07	—	平成18年度	同上	
理工学研究科											
生体医工学専攻	2	18	—	36	修士(理工学)	0.69	0.55	—	平成26年度	埼玉県川越市鯨井2100	
応用化学専攻	2	12	—	24	修士(理工学)	1.83	2.25	—	平成26年度	同上	
機能システム専攻	2	15	—	30	修士(理工学)	1.29	1.26	—	平成26年度	同上	
電気電子情報専攻	2	11	—	22	修士(理工学)	0.99	1.36	—	平成26年度	同上	
都市環境デザイン専攻	2	8	—	16	修士(工学)	0.56	0.75	—	平成26年度	同上	
建築学専攻	2	14	—	28	修士(工学)	1.21	1.07	—	平成26年度	同上	
工学研究科											
機能システム専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成17年度	埼玉県川越市鯨井2100	平成26年度より学生募集停止
経済学研究科											

経済学専攻	2	10	—	20	修士 (経済学)	1.05	0.70	—	昭和51年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
公民連携専攻	2	30	—	60	修士 (経済学)	0.61	0.56	—	平成18年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号 東京都千代田区 大手町2丁目2番1号	
国際学研究科											
グローバル・イノベー ション学専攻	2	10	—	20	修士 (グローバル・イ ノベーション ション学)	0.40	0.50	—	令和2年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学専攻	2	15	—	30	修士 (国際地 域学)	0.49	0.06	—	平成30年 度	同上	
国際観光学研究科											
国際観光学専攻	2	15	—	30	修士 (国際観 光学)	0.79	0.93	—	平成30年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学研究科											
国際地域学専攻	2	—	—	—	修士 (国際地 域学)	—	—	—	平成13年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成30年度より学生 募集停止
国際観光学専攻	2	—	—	—	修士 (国際観 光学)	—	—	—	平成17年 度	同上	平成30年度より学生 募集停止
生命科学研究科											
生命科学専攻	2	20	—	40	修士 (生命科 学)	1.22	1.35	—	平成13年 度	群馬県邑楽郡板倉町泉 野1丁目1番1号	
社会福祉学研究科											
社会福祉学専攻	2	20	—	40	修士(社会 福祉学)又 は修士(ソ ーシャル ワーク)	0.40	0.45	—	平成30年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
ライフデザイン学研究科											
生活支援学専攻	2	10	—	20	修士(社会 福祉学)又 は修士(保 育学)	0.70	0.90	—	平成30年 度	東京都北区赤羽台 1丁目7番11号	
健康スポーツ学専攻	2	10	—	20	修士(健康 スポーツ 学)	0.60	0.80	—	平成30年 度	同上	
人間環境デザイン専攻	2	10	—	20	修士(人間 環境デザイ ン学)	1.00	1.10	—	平成30年 度	同上	
福祉社会デザイン研究科											
社会福祉学専攻	2	—	—	—	修士(社会 福祉学)又 は修士(ソ ーシャル ワーク)	—	—	—	平成18年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成30年度より学生 募集停止
福祉社会システム専攻	2	—	—	—	修士(社会 学)又 は修士 (社会福 祉学)	—	—	—	平成18年 度	同上	平成30年度より学生 募集停止
ヒューマンデザイン専攻	2	—	—	—	修士(社会 福祉学)又 は修士(健 康デザイ ン学)	—	—	—	平成18年 度	東京都北区赤羽台 1丁目7番11号	平成30年度より学生 募集停止
学際・融合科学研究科											
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	2	12	—	24	修士(バ イオ・ナノ サイエ ンス融合)	0.45	0.41	—	平成23年 度	埼玉県川越市鯨井2100	
総合情報学研究科											
総合情報学専攻	2	15	—	30	修士(情 報学)	0.96	0.80	—	平成28年 度	埼玉県川越市鯨井2100	
食環境科学研究科											
食環境科学専攻	2	10	—	20	修士(食 環境科 学)	0.90	0.80	—	平成28年 度	群馬県邑楽郡板倉町泉 野1丁目1番1号	
情報連携学研究科											
情報連携学専攻	2	20	—	40	修士(情 報連携 学)	0.35	0.45	—	平成29年 度	東京都北区赤羽台1丁 目7番11号	
大学全体 (大学院修士・博士前期課程)	—	441	—	902	—	—	—	—	—	—	

大学院博士後期課程											
文学研究科											
哲学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.44	0.33	—	昭和43年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成31年度より学生 募集停止
インド哲学仏教学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.44	0.33	—	昭和29年 度	同上	
日本文学文化専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	0.33	—	昭和29年 度	同上	
中国哲学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	0.00	—	平成11年 度	同上	
英文学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.22	0.33	—	昭和39年 度	同上	
史学専攻	3	3	—	9	博士 (文学)	0.33	0.00	—	平成11年 度	同上	
教育学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	0.16	0.25	—	平成11年 度	同上	
英語コミュニケーション専攻	3	—	—	—	博士 (英語コミュニケーション)	—	—	—	平成19年 度	同上	
国際文化コミュニケーション専攻	3	3	—	9	博士 (国際文化コミュニケーション)	0.22	0.00	—	平成31年 度	同上	平成31年度より学生 募集停止
社会学研究科											
社会学専攻	3	3	—	9	博士 (社会学)	0.22	0.00	—	昭和34年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
社会心理学専攻	3	5	—	15	博士 (社会心理学)	0.40	0.20	—	平成18年 度	同上	
法学研究科											
私法学専攻	3	5	—	15	博士 (法学)	0.46	0.40	—	昭和41年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
公法学専攻	3	5	—	15	博士 (法学)	0.00	0.00	—	平成12年 度	同上	
経営学研究科											
経営学・マーケティング専攻	3	4	—	12	博士(経営学)又は博士 (マーケティング)	0.16	0.50	—	平成31年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成31年度より学生 募集停止
経営学専攻	3	—	—	—	博士(経営学)	—	—	—	平成11年 度	同上	
ビジネス・会計 ファイナンス専攻	3	3	—	9	博士(経営学)または博士 (会計・ファイナ)	0.00	0.00	—	平成22年 度	同上	
理工学研究科											平成26年度より学生 募集停止
生体医工学専攻	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.22	0.00	—	平成26年 度	埼玉県川越市鯨井2100	
応用化学専攻	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.11	0.33	—	平成26年 度	同上	
機能システム専攻	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.00	0.00	—	平成26年 度	同上	
電気電子情報専攻	3	3	—	9	博士 (理工学)	0.00	0.00	—	平成26年 度	同上	
建築・都市デザイン専攻	3	3	—	9	博士 (工学)	0.00	0.00	—	平成26年 度	同上	
工学研究科											
機能システム専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	—	—	平成17年 度	埼玉県川越市鯨井2100	
経済学研究科											平成30年度より学生 募集停止
経済学専攻	3	3	—	9	博士 (経済学)	0.66	0.33	—	昭和53年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際学研究科											
国際地域学専攻	3	5	—	15	博士 (国際地域学)	0.86	0.40	—	平成30年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際観光学研究科											
国際観光学専攻	3	3	—	9	博士 (国際観光学)	0.66	0.33	—	平成30年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学研究科											
国際地域学専攻	3	—	—	—	博士 (国際地域学)	—	—	—	平成15年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	

国際観光学専攻	3	—	—	—	博士 (国際観 光学)	—	—	—	平成23年 度		平成30年度より学生 募集停止
生命科学研究科											
生命科学専攻	3	4	—	12	博士 (生命科 学)	0.33	0.50	—	平成15年 度	群馬県邑楽郡板倉町泉 野1丁目1番1号	
社会福祉学研究科											
社会福祉学専攻	3	5	—	15	博士(社会 福祉学)又 は博士(ソ ーシヤ ル・ワーク)	0.80	0.40	—	平成30年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
ライフデザイン学研究科											
ヒューマンライフ学専攻	3	5	—	15	博士(社会 福祉学)又 は博士(健 康スポーツ 学)	0.60	0.20	—	平成30年 度	東京都北区赤羽台 1丁目7番11号	
人間環境デザイン専攻	3	4	—	12	博士(人間 環境デザイ ン学)	0.08	0.25	—	平成30年 度	同上	
福祉社会デザイン研究科											
社会福祉学専攻	3	—	—	—	博士(社会 福祉学)又は 博士(ソ ーシャル・ ワーク)	—	—	—	平成18 年度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成30年度より学生 募集停止
ヒューマンデザイン専攻	3	—	—	—	博士(社会 福祉学)又は 博士(健康 デザイン)	—	—	—	平成18 年度	東京都北区赤羽台 1丁目7番11号	平成30年度より学生 募集停止
学際・融合科学研究科											
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	3	4	—	12	博士(バ イオ・ナノ サイエ ンス融合)	0.08	0.00	—	平成19 年度	埼玉県川越市鯨井2100	
総合情報学研究科											
総合情報学専攻	3	3	—	9	博士(情 報学)	0.88	0.00	—	平成30年 度	埼玉県川越市鯨井2100	
食環境科学研究科											
食環境科学専攻	3	2	—	6	博士(食 環境科 学)	0.33	0.00	—	平成30年 度	群馬県邑楽郡板倉町泉 野1丁目1番1号	
情報連携学研究科											
情報連携学専攻	3	4	—	12	博士(情 報連携 学)	0.08	0.00	—	平成31年 度	東京都北区赤羽台1丁 目7番11号	
大学全体 (大学院後期課程)	—	107	—	321	—	—	—	—	—	—	
大学全体(大学院)	—	548	—	1223	—	—	—	—	—	—	
文学部 第1部											
哲学科	4	100	—	400	学士 (文学)	1.01	0.99	—	昭和24年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成29年度より学生募集停止
東洋思想文化学科	4	100	—	400	学士 (文学)	0.96	0.96	—	平成25年 度	同上	
日本文学文化学科	4	133	—	532	学士 (文学)	1.02	1.00	—	平成12年 度	同上	
英米文学科	4	133	—	532	学士 (文学)	1.00	1.02	—	昭和24年 度	同上	
英語コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	—	—	平成12年 度	同上	
史学科	4	133	—	532	学士 (文学)	1.02	1.01	—	昭和24年 度	同上	
教育学科						0.98	0.96	—	昭和39年 度	同上	
人間発達専攻	4	100	—	400	学士(教育 学)	0.99	0.96	—	平成20年 度	同上	
初等教育専攻	4	50	—	200	学士(教育 学)	0.97	0.98	—	平成20年 度	同上	
国際文化コミュニケーション学科	4	100	—	400	学士 (文学)	1.02	1.05	—	平成29年 度	同上	
経済学部 第1部											
経済学科	4	250	—	1000	学士 (経済学)	1.00	0.99	—	昭和25年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際経済学科	4	183	—	732	学士 (経済学)	1.02	0.99	—	平成12年 度	同上	
総合政策学科	4	183	—	732	学士 (経済学)	1.01	0.97	—	平成12年 度	同上	

経営学部 第1部											
経営学科	4	316	—	1264	学士 (経営学)	1.01	0.99	—	昭和41年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
マーケティング学科	4	150	—	600	学士 (経営学)	1.02	1.00	—	昭和41年 度	同上	
会計ファイナンス学科	4	216	—	864	学士 (経営学)	1.01	1.00	—	平成18年 度	同上	
法学部 第1部											
法律学科	4	250	—	1000	学士 (法学)	1.01	1.00	—	昭和31年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
企業法学科	4	250	—	1000	学士 (法学)	1.01	1.02	—	昭和40年 度	同上	
社会学部 第1部											
社会学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.01	1.00	—	昭和34年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	令和3年度より学生募集停止
国際社会学科	4	150	—	150	学士 (社会学)	0.98	0.98	—	令和3年 度	同上	
社会文化システム学科	4	—	—	450	学士 (社会学)	—	—	—	平成12年 度	同上	
メディアコミュニケーション学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.01	1.01	—	平成12年 度	同上	
社会心理学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.03	1.04	—	平成12年 度	同上	
社会福祉学科	4	150	—	600	学士 (社会学)	1.01	1.01	—	平成4年 度	同上	
理工学部											
機械工学科	4	180	—	720	学士 (理工学)	1.01	1.01	—	昭和36年 度	埼玉県川越市鯨井2100	
生体医工学科	4	113	—	452	学士 (理工学)	1.00	0.98	—	平成21年 度	同上	
電気電子情報工学科	4	113	—	452	学士 (理工学)	1.01	1.04	—	昭和36年 度	同上	
応用化学科	4	146	—	584	学士 (理工学)	1.00	1.00	—	昭和36年 度	同上	
都市環境デザイン学科	4	113	—	452	学士 (工学)	1.02	1.01	—	昭和37年 度	同上	
建築学科	4	146	—	584	学士 (工学)	1.03	1.04	—	昭和37年 度	同上	
国際地域学部											
国際地域学科									平成9年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	平成29年度より学生募集停止
国際地域専攻	4	—	—	—	学士 (国際地域学)	—	—	—	平成22年 度	同上	
地域総合専攻	4	—	—	—	学士 (国際地域学)	—	—	—	平成22年 度	同上	
国際観光学科	4	—	—	—	学士 (国際観光学)	—	—	—	平成13年 度	同上	
国際学部											
グローバル・イノベーション学科	4	100	—	400	学士(グローバル・イノベーション学)	1.00	0.87	—	平成29年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
国際地域学科						1.00	1.02	—	平成29年 度	同上	
国際地域専攻	4	210	—	840	学士 (国際地域学)	1.00	1.02	—	平成29年 度	同上	
地域総合専攻	4	80	—	320	学士 (国際地域学)	1.01	1.02	—	平成29年 度	同上	
国際観光学部											
国際観光学科	4	366	—	1464	学士 (国際観光学)	0.99	1.00	—	平成29年 度	東京都文京区白山 5丁目28番20号	
生命科学部											
生命科学科	4	113	—	452	学士 (生命科学)	0.99	1.01	—	平成9年 度	群馬県邑楽郡板倉町泉 野1丁目1番1号	
応用生物科学科	4	113	—	452	学士 (生命科学)	0.97	0.96	—	平成21年 度	同上	
ライフデザイン学部											
生活支援学科						1.00	0.99		平成17年 度	東京都北区赤羽台 1丁目7番11号	
生活支援学専攻	4	116	—	464	学士 (生活支援学)	1.03	1.01	—	平成21年 度	同上	
子ども支援学専攻	4	100	—	400	学士 (生活支援学)	0.97	0.97	—	平成21年 度	同上	

健康スポーツ学科	4	180	—	720	学士 (健康スポーツ学)	0.99	1.00	—	平成17年 度	同上	
人間環境デザイン学科	4	160	—	640	学士 (人間環境デザイン学)	1.05	0.99	—	平成18年 度	同上	
総合情報学部											
総合情報学科	4	260	—	1040	学士 (情報学)	1.03	1.01	—	平成21年 度	埼玉県川越市鯨井2100	
食環境科学部											
食環境科学科						0.98	1.03		平成25年 度	群馬県邑楽郡板倉町泉野1丁目1番1号	
フードサイエンス専攻	4	70	—	280	学士 (食環境科学)	0.95	1.04	—	平成25年 度	同上	
スポーツ・食品機能専攻	4	50	—	200	学士 (食環境科学)	1.02	1.02	—	平成25年 度	同上	
健康栄養学科	4	100	—	400	学士 (健康栄養学)	0.97	0.96	—	平成25年 度	同上	
情報連携学部											
情報連携学科	4	400	—	1600	学士 (情報連携学)	0.98	1.00	—	平成29年 度	東京都北区 赤羽台1丁目7番11号	
文学部 第2部											
東洋思想文化学科	4	30	—	120	学士 (文学)	0.98	0.96	—	平成25年 度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
日本文学文化学科	4	50	—	200	学士 (文学)	0.98	1.00	—	昭和27年 度	同上	
教育学科	4	40	—	160	学士 (教育学)	0.97	0.92	—	昭和39年 度	同上	
経済学部 第2部											
経済学科	4	150	—	600	学士 (経済学)	1.03	1.03	—	昭和32年 度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
経営学部 第2部											
経営学科	4	110	—	440	学士 (経営学)	0.99	0.98	—	昭和41年 度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
法学部 第2部											
法律学科	4	120	—	480	学士 (法学)	1.02	1.01	—	昭和31年 度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
社会学部 第2部											
社会学科	4	130	—	520	学士 (社会学)	1.01	1.01	—	昭和34年 度	東京都文京区白山5丁目28番20号	
社会福祉学科	—	—	—	145	学士 (社会学)	—	—	—	平成13年 度	同上	令和3年度より学生募集停止
大学全体（学部）	—	7256	—	29169	—	—	—	—	—	—	
通信教育部											
文学部						—	—				
日本文学文化学科	4	—	—	—	学士 (文学)	—	—	—	昭和39年 度		平成30年度より学生募集停止
法学部											
法律学科	4	—	—	—	学士 (法学)	—	—	—	昭和41年 度		平成30年度より学生募集停止
大学全体（通信教育部）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
- （専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	遵守事項 別地で行う教育活動（体育実技計科目）については、全ての科目・コースにおいて、必ず複数コース開講するとともに、一部のコースは学生の長期休暇期間に集中講義形式でも開講しており、学生の履修上の配慮をした運営に留意している。また、該当別地では従来より運動部と大学から許可されたサークル等の活動を認めており、運用上可能な範囲で課外活動に配慮している。	履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜社会学部 第1部 国際社会学科＞

（1）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
卒業要件及び履修方法 基盤教育（哲学・思想2単位、国際人の形成（語学）必修4単位、選択必修（母国語を除いた1言語）6単位を含む）24単位以上、学科専門科目（必修30単位、選択必修A・B・C・Dから各4単位以上を含む）48単位以上、社会学部共通科目（必修4単位、選択必修（①のうち2単位以上、②のうち12単位以上を含む）14単位以上を含む）18単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 履修科目の登録の上限：学期毎24単位	誤記のため修正 卒業要件及び履修方法 基盤教育（哲学・思想2単位、国際人の形成（語学）必修4単位、選択必修（母国語を除いた1言語）6単位を含む）24単位以上、学科専門科目（必修30単位、選択必修A・B・C・Dから各4単位以上を含む）60単位以上、社会学部共通科目（必修4単位、選択必修（①のうち2単位以上、②のうち12単位以上を含む）18単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 履修科目の登録の上限：学期毎24単位

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 本学のFD・SD推進活動においては、平成19（2007）年4月に「東洋大学FD推進センター」及び「FD推進委員会」を設置し、センター長兼委員長に副学長を充て、各学部・研究科から1名の委員を選出のうえ構成し、各学部・研究科の有機的な連携のもとFD・SD活動を全学的に推進してきた。 さらに平成27（2015）年4月には、職員を構成員に加え、教職協働によるFD・SD活動を推進していくことと、従来活動を行ってきた学生FDスタッフを「学生FDチーム」としてセンター直属の組織とし、学生の参画を得ることを規程において明確にした。 平成29（2017）年4月には、「東洋大学FD推進センター」及び「FD推進委員会」を改組し、新たに「東洋大学高等教育推進センター」及び「高等教育推進委員会」を発足させ、これまでの活動を継承しながら、教学に係る大学運営の高度化と教育内容・方法の一層の質の向上を目的として活動事業の追加を図った。 具体的には、①FD・SD（スタッフ・ディベロップメント）の研修会等の企画運営、②国内外の高等教育の動向に係る調査、研究及び情報提供、③新たな教育形態及び教育プログラム等の研究、開発などを事業に加え、部会の編成を「教育方法改善部会」「FD・SD研修部会」「高等教育研究部会」「教育開発・改革部会」「学生FDチーム」に改め、教育の質向上に向けて取り組んでいる。 そのほか、平成29（2017）年度に高等教育推進センター専属スタッフのセンター員を加え、各学部・研究科の成績評価や学修成果の検証に係る支援を行うなど、全学的なFD・SD組織として活動してきた。また、カリキュラム編成に係る全学組織である「東洋大学全学カリキュラム委員会」や自己点検・評価を担う「自己点検・評価活動推進委員会」と連携を図りながら、教育課程と教育方法の両面の充実に取り組んでいる。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 高等教育推進委員会は年4～6回程度開催しており、各学部・研究科から1名ずつ選出される教員と教学執行部、関係職員で構成される委員の3分の2以上の出席をもって委員会は成立することとしている。また、委員会内の各部会についても、必要に応じてそれぞれ年3～5回程度開催している。 c 委員会の審議事項等 ・委員会の年次活動計画について ・部会の設置と各委員の配属について ・授業評価アンケートの実施について ・各種FD・SD企画の開催について ・学修成果の測定指標に係る検討について 等 ② 実施状況 a 実施内容 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） ○ TA（ティーチングアシスタント）/SA（スチューデントアシスタント）研修会 ・オンライン（オンデマンド型） 2020年4月27日～5月17日開催 参加者：222名 ○ 新型コロナウイルス感染症FD・SD研修会「新型コロナウイルスの特徴・現状そして展望」 ・オンライン（同時双方向型） 2020年7月10日開催 参加者：100名前後 ○ 第2回新型コロナウイルス感染症FD・SD研修会「数値の正しい理解とコロナ対策」 ・オンライン（同時双方向型） 2020年7月31日開催 参加者：100名前後 ○ 新任教員FD研修会 ・オンライン（同時双方向型） 2020年9月14日開催 参加者：46名前後 ○ FD・SD研修会 ～Webex Meetings における Breakout Sessionの設定方法～ ・オンライン（同時双方向型） 2020年9月17日 参加者：90名前後 ○ 2020年度秋学期授業開始前の全学FD・SD研修「秋学期の非対面授業における留意点について」 ・オンライン（同時双方向型） 2020年9月14日～10月31日 参加者：1,448名 ○ TOYO FD・SD Channel ・オンライン（オンデマンド型） 2021年2月18日～ 参加者：926名（2021年2月18日～4月27日）
--

○ 英語で行うためのFD研修会 ・オンライン（同時双方向型・外部講師招聘） 2021年3月16日～18日開催 参加者：17名（定員18名） ○ ネット授業の実施方法についての情報共有【学部内FD・SD活動】 2020年4月9日～7月31日開催 参加者：86名 ○ 対話の教室【学部内FD活動】 2020年11月17日開催 参加者：7名 ○ オンライン授業におけるGOOD PRACTICE の共有【学部内FD活動】 2020年12月9日開催 参加者：87名 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 いずれの研修会も、直接的に各学部・研究科の教育改善、授業改善に資する取り組みである。また各学部・研究科では、さらに独自のFD・SD活動を展開し、それらを高等教育推進委員会で共有している。学部・研究科ごとにFD・SD活動報告書を作成し、それらを取りまとめた「東洋大学FD・SD活動報告書」を毎年作成し、学内はもちろんホームページで公開するなど、授業改善に係る取組状況を広く公表している。 さらに、研修会等を収録した動画を学内のラーニングマネジメントシステムにて配信するなど、都合により参加できなかった教員の視聴も可能とするともに、動画コンテンツを蓄積し有効活用している。 研修会以外には、平成30（2018）年度から全専任教職員を対象にメールマガジンとして「東洋大学高等教育推進センター ニュースレター」を隔週で配信し、情報発信を強化している（令和2（2020）年度16回発行）。 具体的な内容としては「学修／学習時間の実態と教育手法」「わたしが実践する授業の工夫」「東洋大学におけるダイバーシティとその対応に向けて」「非対面授業レポート ―コロナ禍の今、そしてポストコロナに向けて」「大学運営の今」などのテーマを設定し、本学の教職員、学生が執筆したコラムを連載するほか、高等教育に関する有益な情報や教育内容・方法に関するグッドプラクティスを学内で共有している。 そのほか、他大学等で開催される研修会へ参加する場合の参加費や交通費を補助しており、令和2（2020）年度はのべ39名が学外のFD・SD研修会等に参加した。	
---	--

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際社会学、文化人類学、地域研究を土台として、民族、宗教、性差等の現代を生きる人びとの多様性に関する専門的知識とそれらの多様性を活用し、多様な生き方を支援する構想力を習得させること、さらに国内外でのフィールドワークや社会調査を通して他者とのコミュニケーションスキルや作業チームの運営・統率力を涵養し、人の属性の差異に起因する現代社会の諸問題を創造的に解決するための思考力と実践力を体得させることを目的としており、地球全体を視野に入れて人びとの価値観や生き方の多様性を理解し、グローバル化が進む現代社会の諸問題を公正・寛容・共生を尊重する立場から批判的に考究し、持続可能な国際社会の創出に積極的に参画する素養をもったグローバル・シティズンを育成する趣旨の基に設置された学科である。

設置趣旨・目的に沿って計画どおり設置することができており、開設1ヵ月経過した現時点までに展開している主な初年度教育は、以下のとおりである。

- ・本学では、創立者井上円了博士による「諸学に基礎は哲学にあり」を建学の精神として、一貫して哲学教育を基軸に据えた教育研究活動を行ってきており、哲学に関連する科目をとりわけ重要な基礎科目として「基盤教育科目」内の「哲学・思想」分野に設置し、2単位以上修得するよう指導している。
- ・少人数でアカデミック・スキルの基礎を習得できる科目を設置しており、演習コースのうちひとつは英語で授業が行われている。英語コースを選択した学生は、1年から4年次まですべての演習を英語で学び、その成果を英語で執筆することができることを新入生ガイダンス時に案内を行った。
- ・初年次に配当される「国際社会体験演習」は、グローバル化が生起する国内外の現場での学びを経験・実践させ、本学科が目指す現場立脚型のグローバル・シティズンシップ教育の趣旨を理解させると同時に、2年次以降の海外プロジェクト演習や国際社会に関する演習科目、さらには海外留学や海外インターンへの動機づけを与えることを目的としている。この科目には、多民族国家、異文化間の対話、人種差別等をテーマとする国内外での体験学修が10コース設定されており、新入生ガイダンス時に実施方法を周知している。

入学選抜については、アドミッション・ポリシーに基づいた人材を確保すべく、一般入試、大学入学共通テスト利用入試といったものだけではなく、海外直接入試(Web面接)を含む外国人留学生入試、「Web体験授業型」などのA0型推薦入試を実施する等、多様な入学試験を実施し選抜を行った。その結果、志願者としては、推薦入試および一般入試あわせて2,306名を集めることができ、入学者147名を迎えることができた。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・令和3年4月開設のため、令和3年5月現在、国際社会学科としての自己点検・評価活動は実施していない
- ・令和2年度に実施した全組織(国際社会学科の前身である社会文化システム学科を含む)の自己点検・評価報告書は、令和3年4月30日に公表している。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上にて公開
<https://www.toyo.ac.jp/academics/improve/quality-assurance/self/>

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価(機関別認証評価)を受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

- a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

◀ aで「有」の場合 ▶

- b 公表(予定)時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他()]

◀ aで公表「無」の場合 ▶

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

[2. 校舎等建物の面積を減じようとする場合及び建築計画が遅延する場合の様式例]

建築等設置計画変更書

令和 3 年度開設

東洋大学 社会学部 第 1 部 国際社会学科		
建 物 区 分	認可時の計画	変 更 計 画
【朝霞キャンパス】		
①講義棟	9,129.45㎡	0.00㎡
②実験工房棟	1,750.90㎡	0.00㎡
③研究管理棟	2938.44㎡	0.00㎡
④図書館棟	7,206.91㎡	0.00㎡
⑤大学院・研究棟	3,014.28㎡	0.00㎡
	①②③ キャンパス再開発のため取壊し工事中。 学部は赤羽台キャンパスへ移転済。 ④⑤ キャンパス再開発のため改修工事中。 (学生・教職員の入館不可) 学部は赤羽台キャンパスへ移転済。	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 上記様式により提出してください。
 ただし, 面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には, この書類の提出は不要です。
- 2 面積が減少する場合及び校舎建て替えの場合には変更に係る図面及び新旧対照表を, 建築計画の遅延の場合には工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には, 「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に, 「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

○東洋大学高等教育推進センター規程

平成20年規程第39号・平成20年12月17日公示・平成20年12月1日施行

改正

平成27年4月20日

平成29年4月1日

平成30年4月1日

(設置)

第1条 東洋大学（以下「本学」という。）は、東洋大学学則第3条の3及び東洋大学大学院学則第1条の3に基づき、「東洋大学高等教育推進センター」（以下「高等教育推進センター」という。）を設置する。

(目的)

第2条 高等教育推進センターは、本学の教育活動の継続的な改善、改革を組織的に推進、支援することを目的とする。

(事業)

第3条 高等教育推進センターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育内容及び方法改善のための調査、研究及び支援
- (2) FD（ファカルティ・ディベロップメント）及びSD（スタッフ・ディベロップメント）の研究会、研修会、講演会等の企画、実施及び支援
- (3) 国内外の高等教育の動向に係る調査、研究及び情報提供
- (4) 新たな教育形態及び教育プログラム等の研究、開発
- (5) 各学部、研究科での教育活動の改善、改革の情報交換、調整及び支援
- (6) その他高等教育推進センターの目的達成に必要な事項

(センター長)

第4条 高等教育推進センターに、センター長を置く。

- 2 センター長は、高等教育推進センターの業務を統括し、高等教育推進センターを代表する。
- 3 センター長は、学長が指名する副学長とし、理事長が任命する。
- 4 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、副学長の在任期間内とする。

(副センター長)

第5条 高等教育推進センターに、副センター長を置くことができる。

- 2 副センター長は、本学の専任教員のうちから、センター長の推薦を経て、学長が指名し、理事長が任命する。
- 3 副センター長は、センター長を補佐するとともに、センター長に事故があるとき、又はセンター長が欠けた場合は、センター長の職務を代理し、又は代行する。
- 4 副センター長の任期は、センター長の任期満了とともに終了する。ただし、再任を妨げない。

(センター員)

第6条 高等教育推進センターに、第3条に掲げる事業を推進するために、センター員を置くことができる。

- 2 センター員は、学内外の専門的な知識を有する者とし、センター長の推薦を経て、学長が指名し、理事長が任命する。

(高等教育推進委員会)

第7条 高等教育推進センターに、高等教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）を置く。

- 2 推進委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) センター長、副センター長
- (2) 各学部から推薦された専任教員 各1名
- (3) 各研究科から推薦された専任教員 各1名
- (4) 教務部長
- (5) 教務部事務部長
- (6) 高等教育推進支援室長

- (7) センター員
- (8) 学長が推薦する本学専任教職員 若干名
- 3 前項第2号、第3号及び第8号に掲げる委員の任期は、2年とする。ただし、任期の途中で委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任することができる。

第8条 推進委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 第3条に掲げる事業に関する重要事項
 - (2) 学長から諮問された事項
 - (3) その他高等教育推進センターに関する重要事項
- 2 推進委員会はセンター長が招集し、その議長となる。
 - 3 推進委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ開会することができない。
 - 4 推進委員会の議決に当たっては、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、センター長が決する。
 - 5 推進委員会は、必要に応じ、委員以外の者（学外者を含む。）を推進委員会に出席させ、その意見を求めることができる。

(部会)

第9条 高等教育推進センターに、第3条に掲げる事業を推進するために、部会を置くことができる。

- 2 部会の部会長は、推進委員のうちから推進委員会の議を経てセンター長が指名する。
- 3 部会の構成員は、推進委員のうちから部会長の意見を聴いてセンター長が指名する。
- 4 センター長が部会長と協議し、必要に応じ、推進委員以外の者を部会に加えることができる。
- 5 その他部会に必要な事項は、別に定める。

(学生FDチーム)

第10条 センター長のもとに、学生FDチームを置くことができる。

- 2 学生FDチームは、センター長のもとで、FD活動を行う。
- 3 学生FDチームは、本学の学部又は研究科に在籍する学生で、FD活動への参加を希望する者のうちから、センター長が任命する。

(細則)

第11条 この規程の実施について必要な事項は、推進委員会の意見を聴いて学長が定める。

(事務の所管)

第12条 高等教育推進センターの事務は、高等教育推進支援室の所管とする。

(改正)

第13条 この規程の改正は、学長が推進委員会及び各学部教授会の意見を聴いて行う。

附 則

- 1 この規程は、平成20年12月1日から施行する。
- 2 この規程施行の際、改正後の第6条第2項第2号、第3号、第4号及び第6号の委員は、現に「東洋大学FD委員会規程」により選出された委員をもって充てる。ただし、任期は、平成21年3月31日までとする。
- 3 東洋大学FD委員会規程（平成19年規程第8号）は、廃止する。

附 則（平成27年規程第72号）

この規程は、平成27年4月20日から施行する。

附 則（平成29年規程第126号）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年規程第93号）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。